

多発性骨髄腫における分子標的薬治療の作用機序解明を目的とした研究

1. 研究の対象

2017 年 11 月 1 日から 2029 年 12 月 31 日の間に診断された新規発症多発性骨髄腫(MM)患者が対象になります。

2. 研究目的・方法

目的：多発性骨髄腫（MM）は、骨髄内における異常な形質細胞の制御不能な増殖によって特徴付けられる血液がんです。近年、MM に対する分子標的薬治療が、再発/難治性 MM や新規発症 MM の成績を大幅に改善しました。この理由として、CD38 や SLAMF7 などといった表面抗原が形質細胞に高発現していることが挙げられ、これらを標的とすることは MM の治療において非常に効果的です。

しかし一方で、分子標的薬治療を用いても抵抗性を持つ症例は存在し、そのメカニズムなど依然として多くの謎が残されています。この研究の目的は、MM における分子標的薬の作用機序を解明し、耐性を示す症例の特徴やそのメカニズムを明らかにすることです。

方法：新規発症 MM 患者の骨髄液や骨髄腫細胞株から抽出したデータを用いて、分子標的薬に抵抗性を有する MM の特徴を解析します。

症例登録期間：研究実施許可日から 2029 年 12 月 31 日まで
(予定登録数が早期に達した場合はこの限りではない)

総研究期間：研究実施許可日から 2030 年 3 月 31 日まで

利用を開始する予定日：2024 年 6 月 26 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：保存骨髄液 1-2 ml、骨髄パラフィン標本

情報：カルテ番号、年齢、性別、診断名、診断日、治療歴、各種血液検査データ、染色体検査結果、国際病期分類、腫瘍細胞上表面抗原データ、等

4. 外部への試料・情報の提供

・研究共同機関、既存試料・情報を提供する機関から授受する試料は骨髄液保存検体または骨髄パラフィン標本であり、送付の際には郵送にて個人が特定されないよう加工された

状態で提供されます。情報については、多認証システムが導入された e メールシステムを用いて研究共同機関・既存試料・情報を提供する機関より授受します。

5. 研究組織

秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学講座

講師 北舘 明宏（研究代表者）

医員 黒木 航

教授 高橋 直人

（共同研究機関）

亀田総合病院	血液・腫瘍内科	部長	末永孝生
帝京大学医学部附属病院	血液内科	講師	白崎良輔

（既存試料・情報の提供のみを行う機関）

秋田厚生医療センター	血液内科	診療部長	北林淳
市立秋田総合病院	血液内科	科長	吉岡智子
秋田赤十字病院	血液内科	部長	齊藤宏文
由利組合総合病院	内科	科長	黒木淳
平鹿総合病院	血液内科	診療部長	久米正晃
大曲厚生医療センター	血液・腎・膠原病内科	科長	渡部敦
能代厚生医療センター	血液内科	科長	藤島直仁

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、臨床情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学分野

〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1 Tel 018-884-6116 Fax 018-836-2613

担当：黒木 航、北舘 明宏

-----以上